

# 南落合地区 地域おたすけガイド —災害時初期マニュアル—

## < 目次 >

1. はじめに .....	1
2. 基本情報 .....	2
3. 防災資機材リスト .....	10
4. 災害発生時の活動手順 .....	11
指示書.....	16

令和4年3月  
南落合地区防災福祉コミュニティ

毎年1回は、総会等で確認を行う機会を設けましょう。  
訓練等を通して検証を行い、地域に適したガイドに見直していきましょう。

# 1. はじめに

---

## ■ 地域おたすけガイドとは

- ・災害発生後より72時間（3日間）を想定し、地域（防災福祉コミュニティ）がどのような活動を行うかをわかりやすく示したものです。

## ■ 災害時の活動方針

- ・防災福祉コミュニティや消防団、自治会・管理組合等の役員だけではなく、多くの人の協力をお願いしながら、活動を進めていきましょう。
- ・周囲の状況をよく確認し、自らの安全を確保し、慌てず、無理をせず、自分達のできる範囲で防災活動を行いきましょう。
- ・安全を確保するために、複数の人数で行動しましょう。
- ・地域おたすけガイドは、あくまでもマニュアル（ベースになるもの）ですので、災害の状況や場所に応じて、その都度、考えて行動しましょう。
- ・余震や風水害など、まだ被害が生じる恐れがあります。

危険を感じたときは無理をせず、すぐに周囲に助けを求めましょう。

## 2. 基本情報

### ■ 設置基準

地震	震度5強以上の地震、または地震により被害が拡大する恐れがある場合
台風・豪雨	避難情報・気象警戒情報により、大規模な被害が発生すると予想され、役員が協議し必要と判断した場合

### ■ 警戒レベル・避難情報と求められる行動

	<避難情報>	<対象者>	<求められる行動>
<b>警戒 レベル 3</b>	<b>高齢者等避難</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>大雨や台風の接近に伴い、区域内で土砂災害や洪水が発生するおそれがある状況</li> </ul>	土砂災害警戒区域・浸水想定区域内（以下、区域内）にいるお年寄りの方、体の不自由な方、小さな子供がいらっしゃる方など、避難に時間のかかる方と、その避難を支援する方	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難を開始</li> <li>対象者以外の方は、すぐに避難できるように備える</li> <li>ハザードマップ等を確認し、身の安全を確保できると判断した場合は、自宅の2階以上の安全な部屋（土砂災害の場合は山と反対側）などの屋内に留まることも可能</li> </ul>
<b>警戒 レベル 4</b>	<b>避難指示</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害が発生するおそれが高まった状況</li> <li>区域内の危険な場所から避難するべき状況</li> </ul>	区域内にいる方全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険な場所から避難</li> <li>ハザードマップ等を確認し、身の安全を確保できると判断した場合は、自宅の2階以上の安全な部屋（土砂災害の場合は山と反対側）などの屋内に留まることも可能</li> </ul>
<b>警戒 レベル 5</b>	<b>緊急安全確保</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害が発生又は切迫している状況</li> </ul>	まだ危険な区域にいる方	<ul style="list-style-type: none"> <li>命を守る最善の行動</li> <li>今いる場所よりも相対的に安全である場所へ直ちに移動</li> </ul>

## ■ 主な拠点等の情報

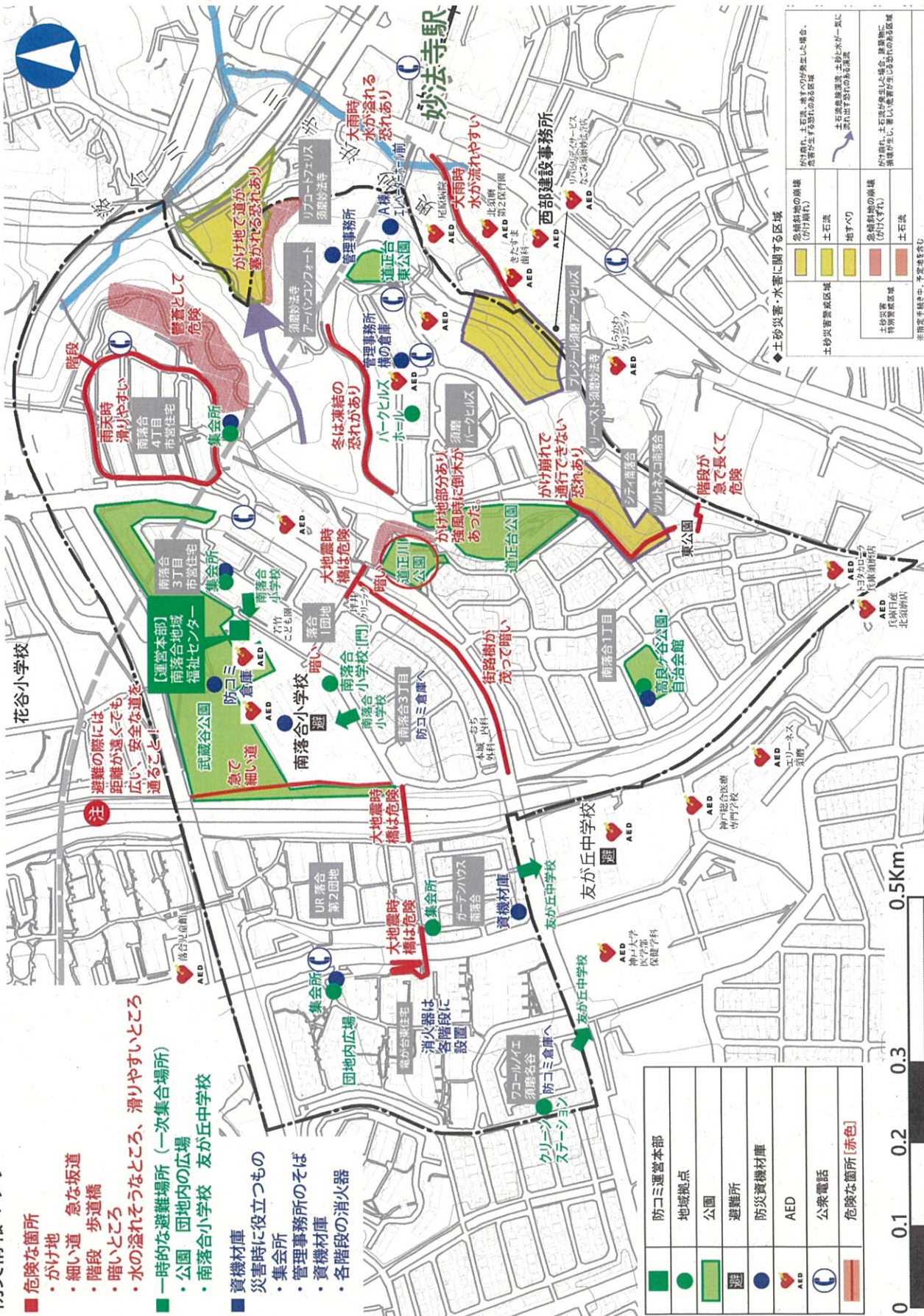
運営本部	南落合地域福祉センター	
地域拠点	自治会・管理組合	地域拠点
	須磨パークヒルズ自治会 須磨妙法寺アーバンコンフォート管理組合 リブコートフェリス須磨妙法寺管理組合	須磨パークヒルズホール
	竜が台東住宅管理組合	集会所
	ワコールノイエ須磨名谷自治会	クリーンステーション
	ガーデンハウス南落合管理組合	集会所
	南落合1丁目自治会	自治会館 ※地域の緊急避難場所は、 道正台公園、高良ヶ谷公園
	落合I団地管理組合	地域福祉センター
	南落合3丁目自治会	南落合小学校（門）
	南落合3丁目市営住宅自治会	集会所
	南落合4丁目自治会（市営住宅）	集会所
屋内緊急避難場所 避難所	南落合小学校	<地区外の近隣> 友が丘中学校
防災資機材庫	南落合小学校 ※地区別にも確保（防災資機材庫一覧参照）	
防災行政無線	南落合地域福祉センター	
福祉避難所	南落合地域福祉センター	

- ・ 屋内緊急避難場所 命を守ることを最優先に、災害の危険から逃れるための場所（屋内）
- ・ 避難所 自宅が被災して帰宅できない場合に、一定期間、生活を送る場所  
 （表に示す屋内緊急避難場所は、土砂災害・洪水・津波時に避難することができます。また避難所としても利用できます。）
- ・ 福祉避難所 災害時の避難所での生活において、何らかの特別な配慮を要する方々のために、市が二次的に開設する避難所  
 （福祉避難所の開設は、対象者の人数や施設の状況、対応可能な人員や物資の状況等を踏まえて市が判断します。災害時に常に開設される訳ではないため、要援護者の方を含め、**まずは一般避難所へ避難**してください。）

# 防災情報マップ

- 危険な箇所
  - ・ かけ地
  - ・ 急な坂道
  - ・ 階段 歩道橋
  - ・ 暗いところ
  - ・ 水の溢れそうなところ、滑りやすいところ
- 一時的な避難場所 (一次集合場所)
  - ・ 公園 団地内の広場
  - ・ 南落合小学校 友が丘中学校
- 資機材庫
  - ・ 災害時に役立つもの
  - ・ 集会所
  - ・ 管理事務所のそば
  - ・ 資機材庫
  - ・ 各階段の消火器

避難の際には、距離が遠くても広い、安全な道を通ること!



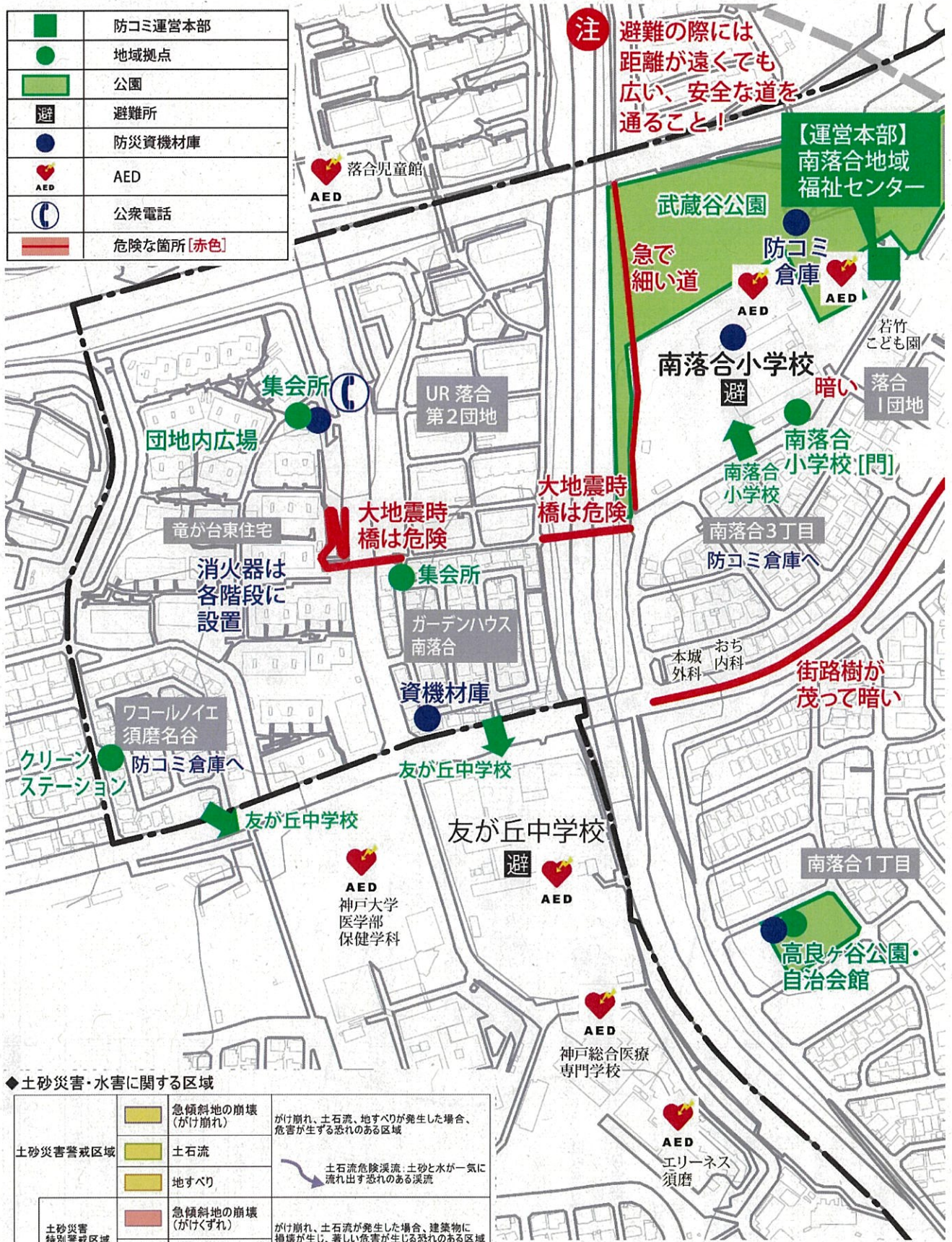
防コミ運営本部	地域拠点	公園	避難所	防災資機材庫	AED	公共電話	危険な箇所 (赤色)
■	●	■	○	■	●	☎	■



# 防災情報マップ拡大

(竜が台東住宅／ワコールノイエ須磨名谷／ガーデンハウス南落合／UR 落合第2団地)

	防コミ運営本部
	地域拠点
	公園
	避難所
	防災資機材庫
	AED
	公衆電話
	危険な箇所 [赤色]



## ◆土砂災害・水害に関する区域

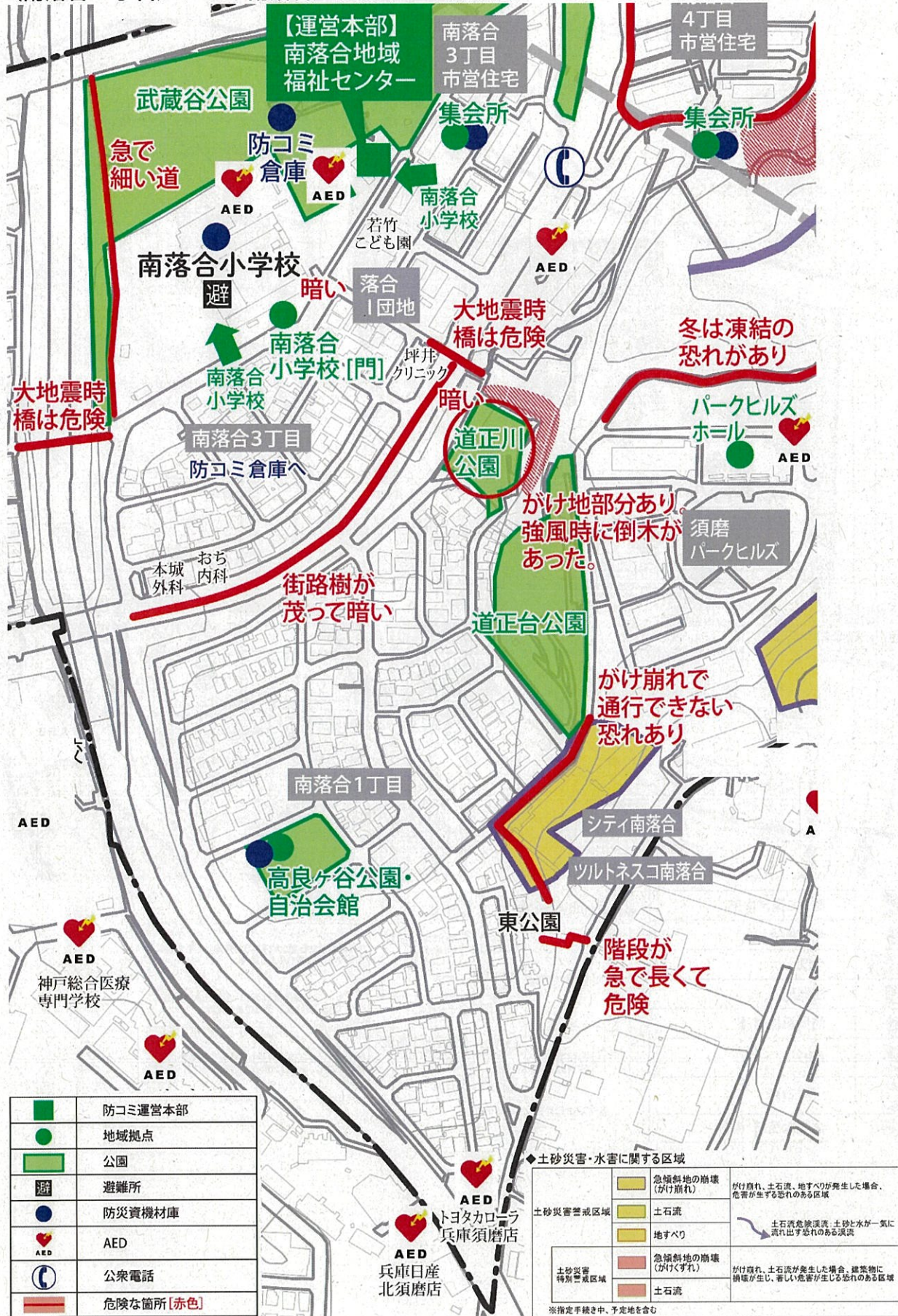
土砂災害警戒区域		急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)	がけ崩れ、土石流、地すべりが発生した場合、危害が生ずる恐れのある区域
		土石流	土石流危険渓流。土砂と水が一気に流れ出す恐れのある渓流
		地すべり	
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地の崩壊 (がけくずれ)	がけ崩れ、土石流が発生した場合、建築物に損壊が生じ、著しい危害が生じる恐れのある区域
		土石流	

※指定手続き中、予定地を含む



# 防災情報マップ拡大

(南落合1丁目/シティ南落合/ツルネスコ南落合)



	防コミ運営本部
	地域拠点
	公園
	避難所
	防災資機材庫
	AED
	公衆電話
	危険な箇所[赤色]

土砂災害・水害に関する区域	
	急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)
	土砂流
	地すべり
	急傾斜地の崩壊(がけくずれ)
	土砂流

土砂災害警戒区域: がけ崩れ、土石流、地すべりが発生した場合、危険が生ずる恐れのある区域  
 土砂災害特別警戒区域: 土石流急激な浸流、土砂と水が一気に流れ出す恐れのある浸流  
 土砂災害特別警戒区域: がけ崩れ、土石流が発生した場合、建築物に損傷が生じ、著しい危険が生じる恐れのある区域

※指定手続き中、予定地を含む



# 防災情報マップ拡大

(須磨妙法寺アーバンコンフォート／リブコートフェリス須磨妙法寺／須磨パークヒルズ／プレジール須磨アークヒルズ／リーベスト須磨妙法寺)



	防コミ運営本部
	地域拠点
	公園
	避難所
	防災資機材庫
	AED
	公衆電話
	危険な箇所【赤色】

## ◆土砂災害・水害に関する区域

土砂災害警戒区域		急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)	がけ崩れ、土石流、地すべりが発生した場合、 危害が生ずる恐れのある区域
		土石流	
		地すべり	
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地の崩壊 (がけくずれ)	がけ崩れ、土石流が発生した場合、建築物に 損壊が生じ、著しい危害が生ずる恐れのある区域
		土石流	

※指定手続き中、予定地を含む

### 3. 防災資機材リスト

#### ■ 各地区にある防災資機材一覧

自治会・管理組合 [保管場所]	担架	スコップ	パール	鋸	おの	ハンマー	つるはし	クリップ ー	救急 セット
南落合1丁目自治会 [高良が谷公園内資機材庫]		8	1	5	1	4	1		1
ガーデンハウス南落合管理組合 [資機材庫]		3	1	2	1	1	1		
落合I団地管理組合 [資機材庫]			2			1	1	1	
南落合3丁目市住自治会 [集会所]			4			1	1	1	
南落合4丁目自治会 [集会所]			6			1	1	1	1
竜が台東住宅管理組合 [集会所の倉庫]			5			1	1	2	
須磨パークヒルズ自治会 [管理事務所横の倉庫]			10			1	1	2	1
須磨妙法寺アーバンコンフォート管理組合 [管理事務所]			1			1	1	1	
リブコートフェリス管理組合 [A棟エレベーターホール前]			2			1	1	1	
本 部	2	7	3	5	2	3	1	1	1
合計	2	18	35	12	4	15	10	10	4

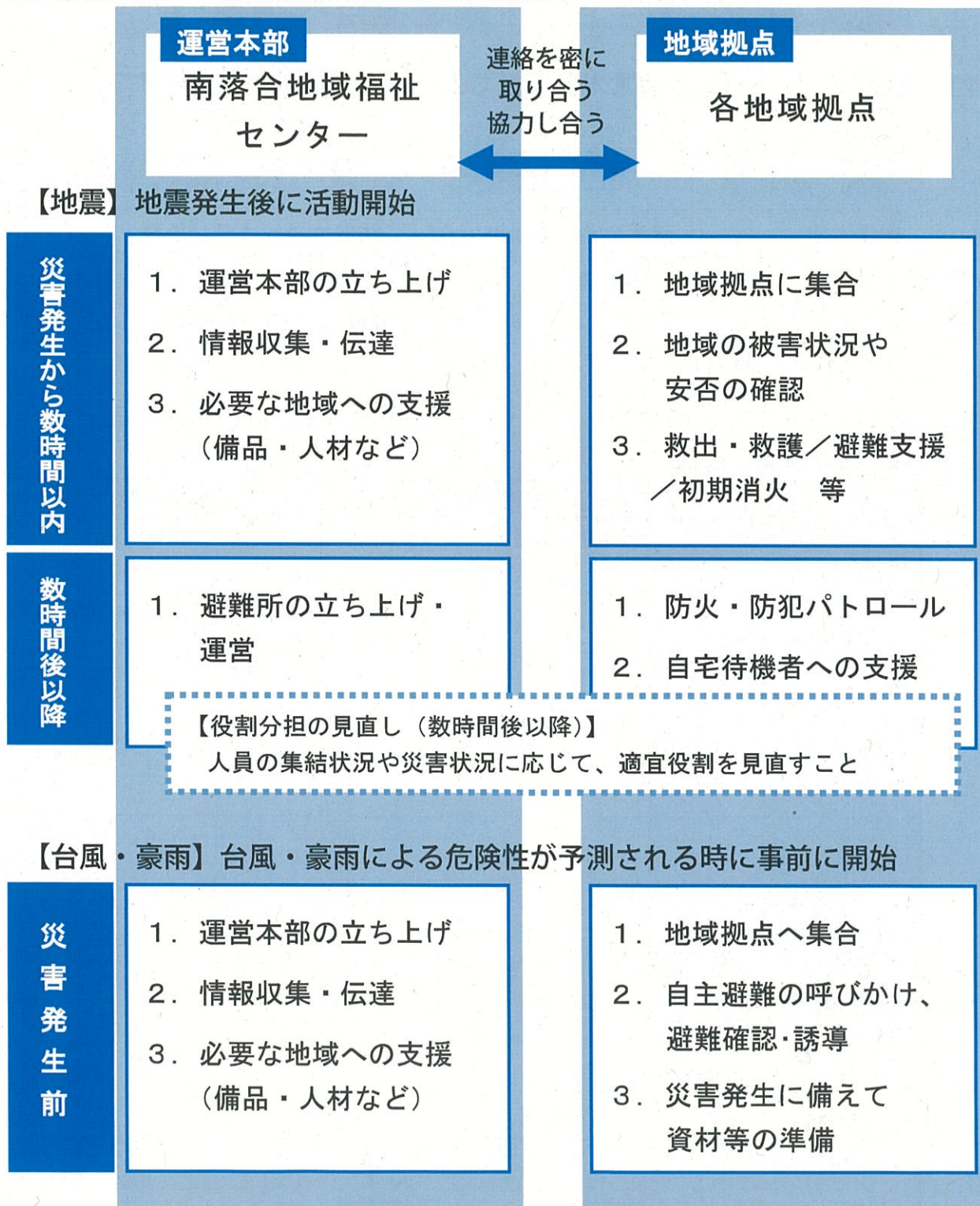
3丁目自治会・ワコールノイエ須磨名谷自治会は本部管理分とする。

#### ■ 本部にある資機材

資機材	個数	資機材	個数
ロープ	2	収納庫	1
水槽	1	ポリタンク	5
布バケツ	30	消火器	2
拡声器	1	コードリール	1
メガホン	4	一輪車	2
ジャンパー	30	ヘルメット	30
腕章	60		

## 4. 災害発生時の活動手順

### ■ 運営本部・各地域拠点と手順の流れ



# 災害発生から数時間以内

## 本部・地域

### 1. 運営本部の立ち上げ・地域拠点への集合

- 集まったメンバーで運営本部を立ち上げる。地域拠点に集合する。

<声かけメンバーの例>

本部・地域拠点	場所	メンバーの例
運営本部	南落合地域福祉センター	防災コミュニティ役員
地域拠点	各地域拠点	自治会役員、管理組合理事

注)・様々な活動を行うためには、多くの人員が必要なため、近隣の元気な人等に、積極的に協力を呼びかける

- 集まったメンバーの中からリーダーを決める。役割分担も決める。必ず複数人数とする。

	運営本部	地域拠点
■リーダー	【想定】委員長	
①情報収集・伝達		(地域拠点ではリーダーに連絡をする)
②被害確認		
③安否確認		
④救出・救護		
⑤避難支援		
⑥初期消火		

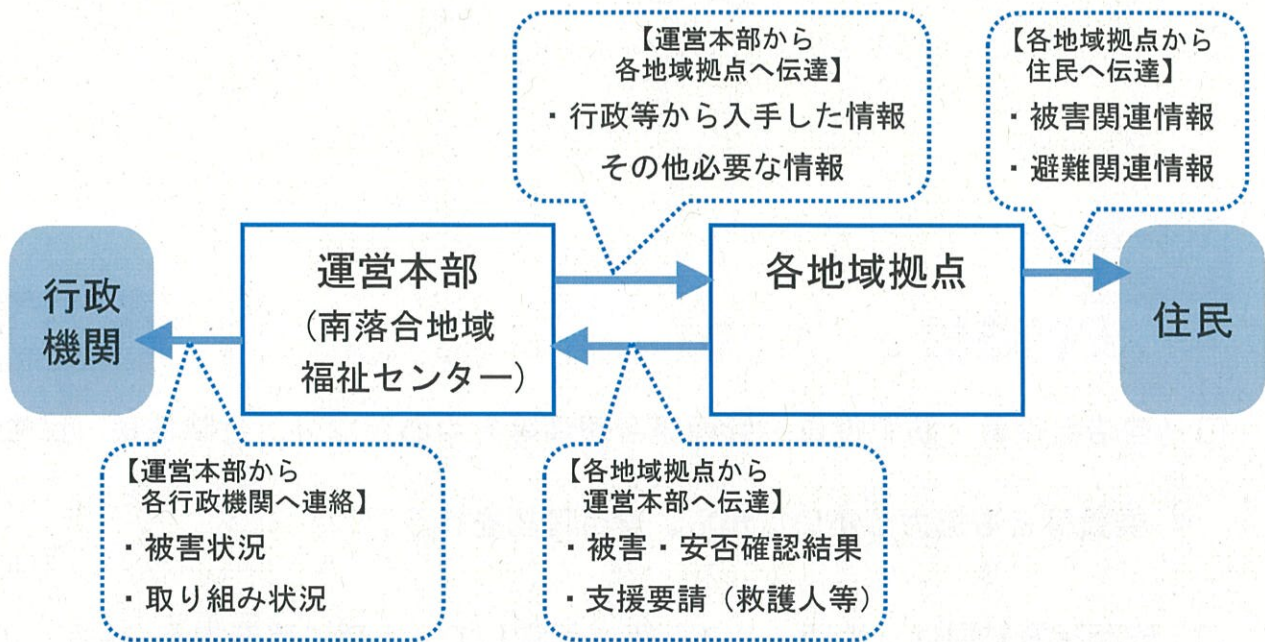
- 必要な準備物を配置する。

<準備物>

<input type="checkbox"/> 地図、防災マップ	<input type="checkbox"/> 付箋
<input type="checkbox"/> ホワイトボードまたは模造紙	<input type="checkbox"/> 文房具
<input type="checkbox"/> テープ	<input type="checkbox"/> 懐中電灯

## 2. 情報収集・伝達

- 情報収集・情報伝達をする。
- 収集した情報は模造紙やホワイトボード等に時系列に記録していく。



<情報の入手・伝達>

情報入手先	情報入手・伝達方法	主に入手・伝達する情報
① マスメディア 【本部・地域】	・テレビ ・ラジオ（車・電池使用） ・インターネット （スマートフォンなど）	・気象・災害・被害状況 ・交通情報・生活情報
② 運営本部と 各地域拠点との 情報伝達	・防災行政無線・電話 ・運営本部での掲示	・被害状況 ・安否確認結果 ・救護人・不足物資、 ・交通情報、生活情報
■ 行政機関 【運営本部が まとめて伝達】	・防災行政無線 ・電話	・被害情報 ・取り組みの情報 ・避難所開設状況
■ 住民	・地域拠点での掲示・回覧	・被害状況 ・避難関連情報

<各行政機関連絡先>

- ・ 須磨区役所 7 3 1 - 4 3 4 1
- ・ 須磨消防署 7 9 1 - 0 1 1 9
- ・ 須磨警察署 7 3 1 - 0 1 1 0
- ・ 西部建設事務所 7 4 2 - 2 4 2 4

<運営本部連絡先>

- ・ 南落合地域福祉センター  
7 9 4 - 5 3 1 4

### 3. 被害状況の確認

- 被害箇所がないかを確認する。
- 被害箇所を地図等に記録して、本部に報告する。

### 4. 安否確認

- 自治会役員・防犯役員・管理組合理事等を中心となり、近隣住民・民生委員等とも協力しあいながら、安否確認を行う。
- 安否確認結果は、地図・リスト等に記録して、本部に報告する。

### 5. 救出・救護／避難支援／初期消火

- 地域内の人を声かけして、協力者を探す。
- リーダーの指示に従い、安全に注意して活動を行う。

## 数時間後以降

### 1. 避難所の立ち上げ・運営

- 避難所（南落合小学校）が開設されたかを確認する。
- 学校関係者・区役所職員と合流する。
- 必要に応じて避難してきた人の名簿をつくる。

### 2. 防火・防犯パトロール

- パトロール班を結成する。
- 交替で地域内のパトロールを行う。

### 3. 自宅待機者への支援（生活情報の周知等）

- 住民等に必要な情報を伝達する。

可能ならば、避難所から物資を運ぶ支援等も行う。

# 被害状況の確認

## 役割

1. 地図をもとに、地域を巡回し、被害箇所を確認する。
2. 被害状況確認結果を記録し、運営本部に報告する。

## 手順

1. 人員を集め、地図を確認する。
  - ・ 人員（2～3人）を確保する。
  - ・ 地図や住民情報であらかじめ危険だと想定される場所を確認しておく。
2. 地域を巡回し、被害状況を確認する。
  - ・ できる限り、遠くから危険箇所がないか確認するようにする。

### <確認する内容>

- 倒壊している建物
- 火災が発生している建物
- 地盤の崩れ、落下物等の恐れのある場所
- 通行が危険な道路
- ライフライン（ガス・水道・電気）の状況

3. 被害状況確認結果を記録し、運営本部に報告する。
  - ・ 被害状況確認結果を地図等に記録し、運営本部に報告する。
  - ・ 地域住民が近寄らないように、現場に表示する。



# 安否確認

## 役割

1. 外観を確認する。
2. 安否状況を確認する。
3. 安否確認結果を記録し、運営本部に報告する。

## 手順

1. 外観を確認する。
  - ・建物に甚大な被害がないかを確認する。

2. 安否状況を確認する。

### ＜安否確認の方法の例＞

- ① 声かけ・呼びかけ確認（門の外側で大きな声で呼びかけ）
- ② ドアをノックして確認（応答がないときは、ドアをノック）
- ③ 庭、勝手口等の確認（状況が把握できない時は、庭・勝手口等から確認）

- ① 住民から安否確認を報告
  - ・マンションエントランスのボックスに、部屋番号がわかるものを入れてもらう。
  - ・玄関ドアや郵便受けに、安全がわかる印を貼ってもらう。
- ② 安全が確認できないところに、安否確認へ行く

3. 安否確認結果を記録し、運営本部に報告する。
  - ・確認結果を現地等や地図等に記録し、運営本部に報告する。

# 初期消火

## 役割

1. 出火場所と出火の状況を確認する。
2. 消火できそうならば、人員を確保し初期消火を行う。

## 手順

1. 出火場所と出火の状況を確認する
  - ① 出火場所と出火の状況を確認する。
  - ② 消火活動人員を割り振る（3～4人のチーム体制）。
2. 消火できそうならば、人員を確保し初期消火を行う。

### <初期消火の注意事項>

- ・火元に近い消火用水を選定し、強風時には風上側の消火用水を使うなど風向きに注意する。
- ・川や池の水を使用する時はバケツ等に紐を結び、くみ上げの活動が行いやすい方法で水の流れに向けて投入する。  
くみ上げ後、小分けしバケツリレーを行う。
- ・近隣に設置してある、消火器を活用し消火活動を行う。

# 救出・救護

## 役割

1. 人員・道具を集める。
2. 救出活動を行う。
3. 救護(応急手当)をする。

## 手順

1. 人員・道具を集める
  - ① 救出活動人員を割り振る(3~4人のチーム体制)。
  - ② 防災資機材庫や道具のありそうな場所から道具を集める。
2. 救出活動を行う。
  - ① 建物の被害状況を確認する。
    - ・倒壊建物に残されている人の状況を確認する
    - ・建物の倒壊状況、内部に侵入するスペースを確認する。
  - ② 二次災害防災対策を行う。
    - ・木片、トタン、ガラス等の軽量物を除去する。
    - ・柱、梁等の大きな物の周辺の物を取り除くときは、ロープ・角材等で支えて固定する(大きな物がずれたり、倒壊しないため)。
    - ・火災の発生に備え、消火器や水バケツを用意する。  
ガスの元栓や電気のブレーカーは早く閉止や遮断する。
  - ③ 要救助者を救出する。
    - ・要救助者の近くまで掘り進んだ後は、資機材を使わずに手作業にする。
    - ・要救助者を無理に引き出そうとしない。
3. 応急手当をする。
  - ・出血しているときは清潔なガーゼ・マスク・布等で傷口を圧迫止血する。

# 避難支援

## 役割

- ・避難所等に避難する必要がある災害時の要援護者の避難支援を行う。

## 留意事項

1. 一人暮らしの高齢者
  - ・迅速な情報伝達と避難誘導、安否確認や状況把握が必要。
2. 寝たきりの要介護高齢者
  - ・避難時は、車いす、担架、ストレッチャー等の補助器具が必要なことがある。
3. 認知症の疑いのある人
  - ・安否確認、状況把握、避難誘導の援助が必要。
4. 視覚障がい者
  - ・音声による情報伝達や状況説明が必要。避難誘導等の援助が必要。
5. 聴覚障がい者
  - ・補聴器の使用や、文字・絵図や手話を使った情報伝達、状況説明が必要。  
(最初の声かけ【インターホン音】)が聞こえないため注意が必要)
6. 言語障がい者
  - ・筆談、手話等で状況を把握することが必要。
7. 在宅人工呼吸器使用者
  - ・避難所での電源確保が必要。
8. 外国の方（日本語を理解しにくい方）
  - ・事前にポータルサイトをダウンロードしてもらう。